

第1回潟上市教育委員会定例会記録

開催年月日	令和8年1月21日(水)
場所	潟上市役所 2階第1・2会議室
会議時間	午前9時55分～午前10時55分
出席委員	吉原慎一教育長、稲荷一清教育長職務代理者、佐藤有加委員、今田智範委員、佐藤賢一委員
欠席委員	なし
会議案件説明のため出席した者の氏名	伊藤強教育部長、佐々木達也教育監、菅原摂教育総務課長、畠山ひとみ文化スポーツ課長、二田元学校教育班長
会議書記の職氏名	教育総務課 総務学事班長 佐藤 陽子
付託案件	報告 (1) 教育長報告 (2) 各課長報告 ①教育総務課 ②文化スポーツ課 審議 (1) 議案第1号 潟上市指定有形文化財の指定について その他

会 議 の 経 過

教育長	9:55	<p>それでは、第1回潟上市教育委員会定例会を開会いたします。私から御挨拶を申し上げます。</p> <p>今年初めての定例会です。どうぞ今年もよろしく願いいたします。仕事始めからずっと秋田の冬らしい天気だと感じていますがもうすぐ立春になると思うと少し希望が湧いてくる気持ちがします。</p> <p>さて、昨年、第1回の定例会では次期学習指導要領の改訂に向けて文部科学省が諮問を行ったという話をしておりました。その諮問に対して中間報告、論点整理が昨年の秋に公表されています。その中で標準授業時数を弾力的に運用して調整授業時数を生み出して教師と子どもたちに余白の時間を作っていく、そのことによって教師も子どもも豊かな教育活動ができていくのではないかと方向性が示されています。</p> <p>教育課程を柔軟に編成していくということは、それぞれの学校のカリキュラムマネジメントの力がかなり大きく問われるということになってきます。この4月から大豊小学校が午前5時間授業の試行を行うことになっています。昨日今日明日と、その試行のための試行を行うことになっています。来年度の試行の結果を検証し課題を検討しながら、できるだけ多くの学校で実施を拡大していきたいと思っています。教師も子どももゆとりを持って学校生活を送っていく、そんな中で、勉強が好き、友だちが好き、まちが好きと言える子どもたちが増えていってくれればよいと願っています。</p> <p>今年もまた教育委員の皆様方には一層の御指導をいただきながら教育行政を前に進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは次第に従いまして会議を進めてまいります。</p>
教育長		<p>次第の2、会議録署名委員及び書記の指名を行います。</p> <p>潟上市教育委員会会議規則第42条の規定により、会議録署名委員には、私と佐藤有加委員をお願いいたします。書記は教育総務課の佐藤班長をお願いします。</p>
教育長		<p>次第の3、会期の決定についてお諮りいたします。</p> <p>会期については本日1日限りとしたいのですが、御異議ございませんか。</p>
全委員		<p>異議なし。</p>

教育長		会期については本日 1 日限りといたします。
教育長		次に次第の 4、委員会への報告に入ります。 (教育長報告 教育長動静について)
教育長		ここまで御質問等がございますか。
全委員		なし。
教育長		それでは次に各課長報告です。
教育監		(教育総務課) ① 教職員が実感できる働き方改革プラン 取組状況について ② 教師ミニミニ体験事業について ③ 新規学卒者等研修について ④ 令和 7 年度総合的な学習の時間プロジェクト会議
教育長		それでは次に文化スポーツ課から報告をお願いします。
文化スポーツ 課長		(文化スポーツ課) ① 会議報告 1) 第 3 回潟上市文化財保護審議会 ② 第 21 回潟上市書き初め大会について
教育長		ここまでの報告で何か御確認や御質問等ございますか。
委員		7 ページの資料の②を見ると時間外が月 80 時間超というのは、中学校はやはり非常に多いです。部活動の影響があると思いますが、月 80 時間超というのは結構きつと思います。これを減らすのを現実的にできるのかどうか、時間外を減らすのは分かっているけれど現場の方としてはこういうギャップがあるとか教えていただければと思います。
教育監		中学校は部活動の影響というのは非常に大きいところがあります。また、固定化された教員が残ってしまっているということも現実としてあると思います。そこをどうするのかとなると校内体制として、1 人に負担がいかないようにどのようにその

<p>学校教育班長</p>	<p>業務を分担していくのかといったことを、管理職も含めてこの後しっかりと取り組んでいかなければいけないと思います。目標が絵に描いた餅にならないように取り組んでいく必要があると思っています。</p> <p>このプランについても、令和8年度までの3年間、つまり来年度はラストイヤーなので完全に目標の達成ができるかどうかというのは非常にハードルが高いところですが、少しでも近付けるような取組が必要だと考えております。</p> <p>部活動指導員を導入する前に実態を調査するという一方で、部活動の主担当と主担当でない人の平均をとったのですが、少ない学校でも20時間、多い学校だと40時間差があり、やはり部活動の主担当であることが、大きく業務の圧迫につながっていると感じています。改善策としては、この後短縮日課が小学校で進んでいきますが、その際に中学校の方も教育課程の柔軟化を図り部活動の開始時間を少し前の方にするすることで業務の削減ができるのではないかと考えています。</p>
<p>教育長</p>	<p>管理職は業務が残っていて残業しているということでしょうが、委員から管理職としての経験を踏まえながら、何か有効な手立てなどないですか。</p>
<p>委員</p>	<p>現場にいるとき、管理職だけでなく、いつも同じ先生がいつまでも残っているというのが現状でした。</p> <p>働き方改革が言われてもう20年近くなるのではないかと思います。今回、潟上市教委でいろいろな対策を行った結果は、数字に表れていると思います。最終的にはやはり教職員の意識改革が必要です。教師が一番時間をかけなければいけないのは、子どもたちと直接対話しながら、自分の授業をどう高めるかということだと思っているので、最後には意識改革以外はないのではないかと思います。それは管理職も同じで、多忙に多忙を重ねて体を悪くしてしまったら、それが一番働き方としては間違っただけの話をしていかなければいけないと考えています。</p> <p>併せて質問ですが、この対策としてストレスチェックをかなり前から始めたと思います。自分でもストレスチェックに自分のことを見ながらチェックし、最後に郵送されてきたものを1回見て終わりという感じで、これにかなりお金がかかっているのだと思いながら見ていました。本市のストレスチェックの平均を見ると、50をかなり超えています。最初の3つの項目は</p>

<p>教育監</p>	<p>50より低いです。ある程度時間超過してもストレスが溜まっていなければ、そこまで問題ではないと思います。一定時間以上の時間外を超える職員をゼロにするという目標ですが、これはかなり難しいと思います。ストレスチェックの活用について教えていただきたいです。</p> <p>データについては、個々人のデータとしての整理はされておりませんが、校種別、年代別、性別等では細かいチェックをすることができるため、その辺りを各校の管理職にお伝えし、「業務の心理的な仕事の負担」では学校でどういったところに配慮し職員に業務分担等をしていくのかといった対策のヒントにしてもらうことはできるのではないかと思います。</p> <p>どうやって業務の改善をしていくのか、また管理職の負担を減らしていく方法を考えたときに、1つはICTの活用だと思います。校務支援システムを市で整えながら各校への導入も進めていますので、これまで手計算でエクセルを駆使して担当にメールで送付していたものを、統合型の支援システムが整うことで管理職の負担も減っていくのではないかと思います。ストレスチェックに当たる部分も、一般の教職員がそういったシステムをうまく活用することで負担が減っていくのではないかと考えています。</p>
<p>教育長</p>	<p>ストレスチェックについて、管理職から教員に対してどのようなフィードバック、あるいはどのような改善の方向がそこで検討されていくのか、職務代理者が現場にいる頃はどうか。</p>
<p>教育長職務代理者</p>	<p>6年前ですが、ストレスチェックの個々のデータはそれぞれ1人1人に配付されますが、厳封されて本人に渡っているので校長は知り得ませんでした。学校ごとに集計はされていなかったと思います。</p> <p>1人1人の職員がどういうストレスを持っているのかということを知り得るとするのは、多分個人情報の問題だけではなくパワハラという関係もあり秘密にしていると思います。</p>
<p>教育監</p>	<p>データを提供するというのも個人に全て委ねられていて、出しゃせんという人はデータを提供すらない扱いになっています。個人の情報に関わる部分が多いので、ピンポイントでというのは難しいです。</p>

教育長職務代 理者	<p>自分でストレスがあるという職員は自分であるところに申し出て相談を受けるというシステムだった気がします。</p> <p>質問ですが、8ページにあるストレスチェックの調査日が令和6年となっていますが、その時のデータですか。</p>
教育監	<p>そのとおりです。</p>
教育長職務代 理者	<p>分かりました。何とかそれを活用できる方法があればと思っています。</p>
教育長	<p>例えば健康診断書の中身は個人しか見られないので、それぞれがその診断書や診断のチェック項目で心配なところは専門機関、医療機関に相談に行くという形で対応していますが、このストレスチェックについてもプライベートな情報になるので、学校の体制として例えば学校医や産業医に心配なところ、自分がストレスのかかっているということについてぜひ相談してくださいというような一言があれば、活用の仕方が先生方に伝わっていくのではないかと思います。</p>
委員	<p>このストレスチェックは偏差値で表していて働きがいの項目が55でいい方だと思いながら見ていました。同じ55でも全国平均も上がっていれば55は55のままということですよ。比較ができるチェックはほかにできないのかと思いました。ワークライフバランスの充実も目指していますが、そこをどのように測るのだろうと思いました。充実しているところが上がっていけば、時間の偏差値は低いのですが、充実しているならいいのかなという気もしています。</p>
教育長	<p>ストレスチェックは毎年行うため、個人には毎年のデータが蓄積されていくわけです。偏差値なので母集団の質がかなり変わっていけばということはあると思いますが、そこは統計学的にそんなに大きな変化はないという前提でやっているのだろうと思います。個人のデータ、個人での推移を見ていくということなのでしょう。</p>
教育長職務代 理者	<p>ストレスチェックは個人データであり見ることはできないのですが、勤務時間のデータはしっかりとあると思います。中学校は学校で2人か3人くらいは1日4時間以上の時間外勤務をしているのが現状だと思います。多分学校や教育委員会ではその個々が誰なのかということは把握していると思います。市全</p>

		<p>体で10人弱だと思います。個々の人を見て状況を十分把握しておくとうよいと思います。</p> <p>管理職が時間外が多くなるというのは、鍵閉めが大きいところがあるので、校長と教頭と協力して1週間交代にするなどにとよいと思います。部活動に関しては、部活の指導員もいるのですが、それはごく一部の部活なので、今後も地域移行に向けて土曜日か日曜日の練習時間を極力減らしていくなど対策を取っていかなければいけないと思います。</p> <p>ストレスチェックは令和6年11月、勤務時間、時間外在校等の時間推移は今年度のデータも入っているようですが、そのデータを基にしながら毎年、業務改善の見直し、計画の見直しをしていると思います。令和8年度が最終年度の3年目となりますので、特に10ページ11ページで、令和8年度こういうところを改善する、計画や役割を見直していくというようなことがあるのかどうかをお聞きしたいと思います。</p>
教育監		<p>現時点で具体的に手をつけていきたいと思いますという辺りを各校と共有しているところはありません。ただ、先ほどお話ししたとおり先に行われた校長会議でこういったデータを示したところですので、次年度が最終年度だということも踏まえて具体の改善策をきちんと各校と共有して、どこにしっかりと手をつけていくのかといったことを協議した上で、実働に向けていけたらと考えています。</p>
教育長職務代理人		<p>先ほど話したとおり、中学校であれば2人から3人の職員が非常に時間数が多い状態なので、その辺りで各校から出てくる業務改善に関して何か見直しがあるのかというところにチェックを入れると、学校の意識も変わっていくと思います。業務改善計画が出されるのは4月、5月頃かと思います。多分業務計画の改善計画は大雑把な感じだと思います。具体的なところを少しでも入れていかないと変わらないと思います。そういうところのチェックをしていくとだんだん改善されていくのではないかと思いますので、何とかよろしくお願いします。</p>
教育長		<p>職務代理人からお話しがあったように10ページ11ページにそれぞれ県あるいは市、学校の役割が明示されていて、業務改善計画をそれぞれ学校でも出すわけですが、市でもそれを見ながら目に見える形での働き方改革が実現できていくように指導していかなければいけないと思っていますところでは</p> <p>市でのガイドラインの提示、例えば保護者対応に対してのガ</p>

<p>教育長</p>	<p>イドラインの提示や、あるいはスクールカウンセラー、スクールロイヤー事業の発足などが各学校にとってはかなり業務の負担感を軽減していくことにつながっているの、これからも様々な事業、支援を通じて市としても働きかけていこうと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>ほかに何かございますか。</p> <p>総合的な学習の時間のプロジェクト会議ということでお話がありました。実際にそういう会議があれば、各校の実践を聞いたかったという感想を持ちましたが、具体的に各校がどんなことをしたのか、教えていただければと思います。</p>
<p>教育監</p>	<p>各校のそれぞれの取組のデータが今手元がないので、特徴的なところということでお話しします。</p> <p>出戸小学校ですが、どうやって課題と出会わせていくのかとなったときに、出戸浜のクリーンアップを一つのきっかけにつながっていったということでした。そこでの取組で自分たちはこの地域をどんなふうに盛り上げていくのか、どういったよさがあってどういった課題があるのかといったところを入口に学習を展開していったということでした。</p> <p>飯田川小学校では最初の課題との出会わせ方のときに、どちらかというマイナス面に注目して、これが足りないあれができていないというところに目を向けがちだったのが、プラスの面から、うちの地域にはこんないいところがあるよ、というところを入口にして、そこからこれをもっと充実させていくためにはどういったことが必要なのか、ここがいいけれど、この辺がもしかしたら足りないのではないのかというように、マイナス面からではなくプラス面から目を向けさせたのが非常に効果的だったと聞いています。</p> <p>また、大豊小学校は佃煮の文化に目を向け注目を進めていっていたと報告を受けています。それぞれ各学校ではテーマとの出会わせ方を非常に工夫して取り組んでいたということが報告されていました。</p> <p>一方で課題としては、誰とつながってどんなふうに学習を充実させていくのかといった辺りは、地域素材、人材も含めて、課題だということが会議の中で出ています。</p>
<p>教育長</p>	<p>出戸小学校は出戸浜に近くクリーンアップもずっと行って、出戸浜の浜がどんどん後退している、侵食されているとい</p>

	<p>うことの課題意識、つまり「かたがみを変えよう科」で今まで良さを学んできていたけれど、こういう課題があるというところに出会わせたい、気付かせたいということが目的の一つで、その課題の発見の仕方としては、出戸浜ということが一つの大きなキーワードになっていて、海岸線の後退、松枯れの問題、それから風力発電の問題、このようなことを子どもたちなりに探究していこうというテーマ設定もできたようでした。</p> <p>また、追分小学校は人口増について、何で追分地区に人口が増えているのかといったことの課題意識があったり、追分は他の地域と比べて、あまり歴史が長くないためお祭りや地域固有の行事があまりなく、その中で人口が増えているということの課題意識を持って、何でかなということでも探究をしていこうということもあったようです。</p> <p>それぞれの場所それぞれの地域で自分の地域の良さを学んだ上で、これは何でだろうという課題に対しての問題意識が子どもたちの中で芽生えてきたと感じたところでした。</p>
教育長	ほかに何かございますか。
教育長職務代理人	新規学卒者等の研修について、これは今年度から始まった研修でしょうか。
教育監	今年度からのものかどうか、今確認ができません。
教育長職務代理人	<p>3名の方が、潟上市内の天王南中学校区の小・中学校に1人ずつ配置されるようですが、本人たちにとっては研修ですが学校にとっては何か助けてくれること、手伝ってくれるようなことがあれば、活用の仕方によって非常に助かると思います。</p> <p>秋田市内の学校に勤めているときに、秋田大学の大学生が単位を取れる形で週1回数時間、授業の一環として学校に来てくれていました。秋田市内の学校だけでしたが、もし、学生が学校の方に授業の一環として来てくれるような状態であれば、ぜひ潟上市内でもそのような取組、授業を取り入れてくださると学校としてはありがたいと思います。来年度、再来年度でも、秋田大学と連絡を取りながら、そういう授業があれば検討していただければと思います。</p>
教育長	12月に教師ミニミニ体験の閉校式に行ったときに担当の教授が学生たちを活用できるのであればぜひ活用してもらえればありがたいという話がありました。制度的に何かありそうですか。

委員		<p>秋田市内は特別支援教育コース専攻の学生が授業の一環で、地元の学校に週1回くらい行くということはありません。連携協定を結んでいると思うので、大学と潟上市、秋田市もその中でやり取りでやっていると思います。秋田市外になるとなかなか遠いので、近くの学校でというような形が多いです。</p>
教育長		<p>教師ミニミニ体験の高校生を受け入れた学校の評価としても一生懸命やってくれて子どもたちも喜んでいたという肯定的な評価もあったので、大学生が仮にそういう形で交流できるのであれば、学校としても助かるのではないかと思います。</p>
委員		<p>大抵、採用試験が終わって、4年生の後期あたりから現場に週1回行くような授業が入っていると思います。</p>
教育長		<p>分かりました。その辺りは事務局で大学と連絡を取って確認してみてください。</p>
教育長		<p>ほかに何かございますか。</p>
全委員		<p>なし。</p>
教育長		<p>それでは次に、次第5、審議に入ります。 議案第1号 潟上市指定有形文化財の指定についてです。事務局から説明をお願いします。</p>
文化スポーツ課長		<p>(説明)</p>
教育長		<p>ただ今の説明について、何か御質問はございませんか。</p>
全委員		<p>なし。</p>
教育長		<p>なければ、議案第1号 潟上市指定有形文化財の指定について、承認することといたします。これに御異議ございませんか。</p>
全委員		<p>なし。</p>
教育長		<p>御異議がないようですので、議案第1号は承認いたします。</p>

教育長		次に次第の6、その他に入ります。各課から何かありますか。
全員		なし。
教育長		手元に卒業式と入学式の日程表があると思いますが、それぞれ参列者について確認したいと思います。
		(参列者調整)
教育長		最後に次回の日程について調整をしたいと思います。 ～日程調整～ 2月20日(金)午前10時00分はいかがでしょうか。
全委員		よろしいです。
教育長		それではこれで第1回潟上市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。
	10:55	閉会